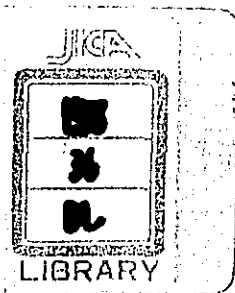


# トメア久一概況

NOVEMBRO / 1978

- トメア久一 ..... Colônia da Tomé-Açu
- 米子トメア久一 ..... Colônia BAIANI Tomé-Açu
- 米子トメア久一 ..... Colônia Aitú-Açu

米子トメア久一事業団  
(米子トメア久一事務所)



国際協力事業団

受入 月日	'84.9.13	L703
		36
登録No.	14898	BL

トメア久一概況

N OVEMBRO / 1978

- トメア久一 ..... Colônia de Tomé-Açu
- ✱ 相トメア久一 ..... Colônia DAINI Tomé-Açu
- ✱ 才トメア久一 ..... Colônia Atú-Açu

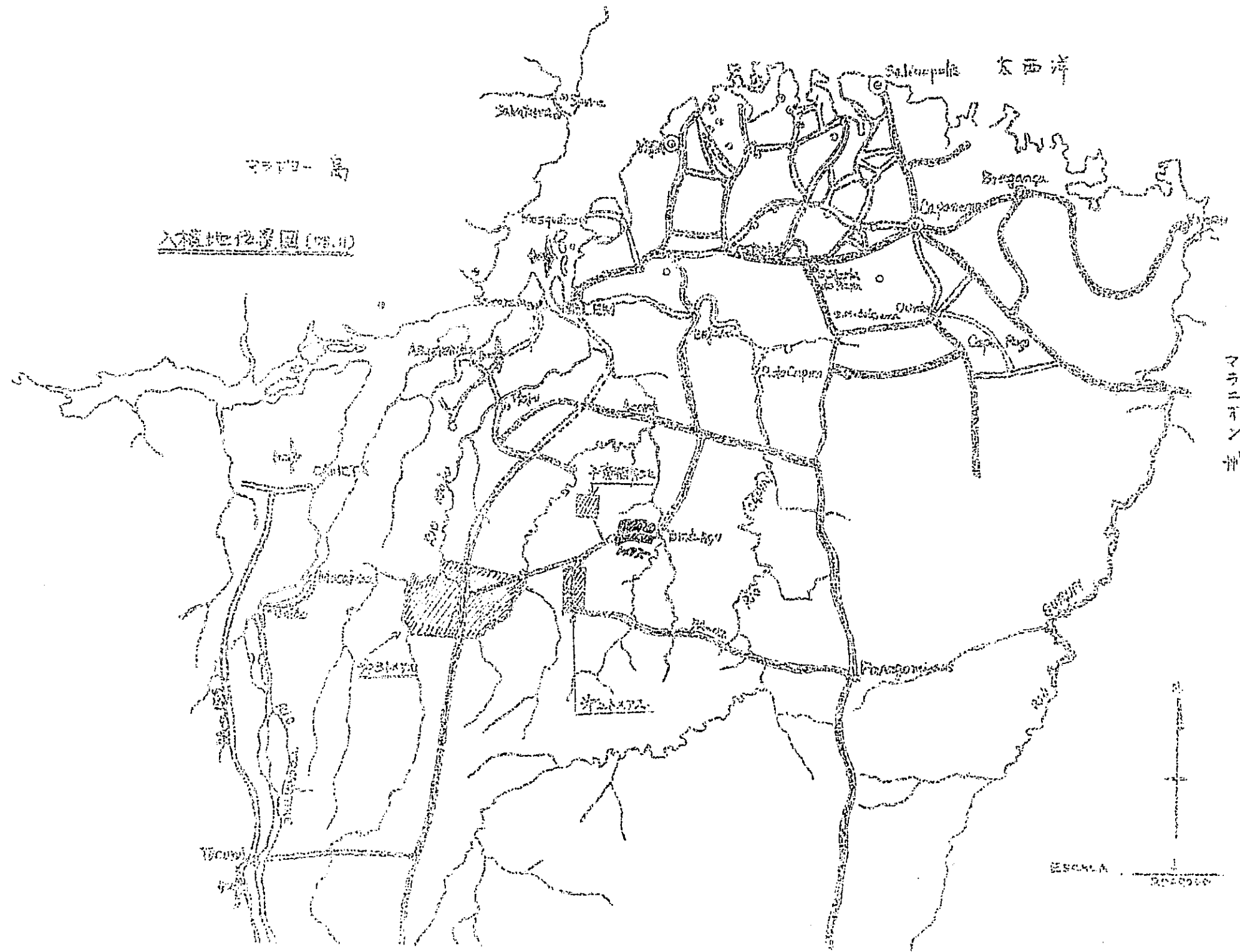
7

国際協力事業団  
(相トメア久一事務所)

JICA LIBRARY



1024825[0]



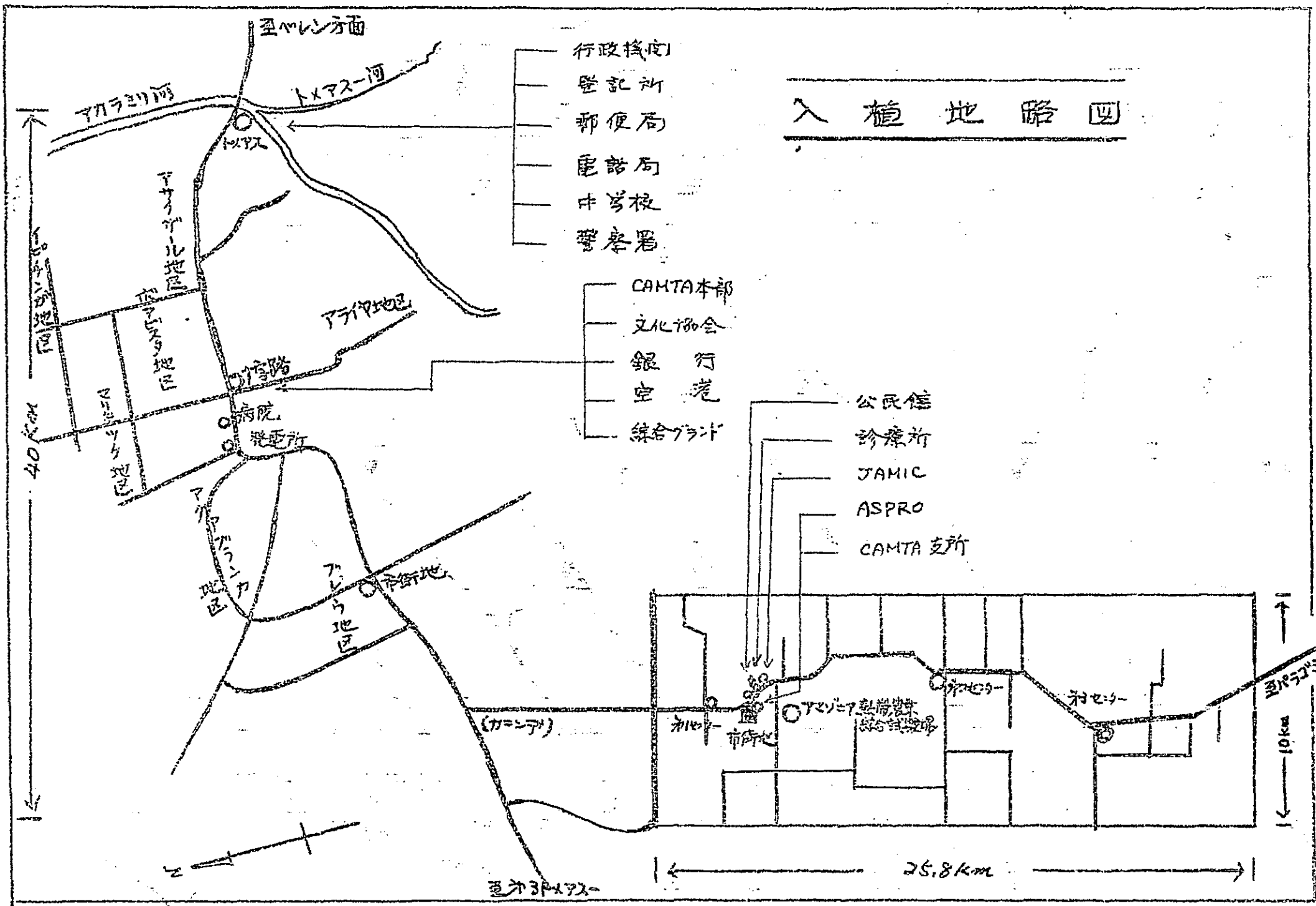
入嶺地位図 (附圖)

マダガスカル島

大西洋

マダガスカル島

ESCALA 100 Miles



入植地略図

- 行政機関
- 登記所
- 郵便局
- 電話局
- 中学校
- 警察署

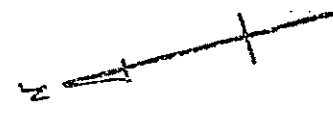
- CAMTA本部
- 文化協会
- 銀行
- 空港
- 綜合プラザ

- 公民館
- 診療所
- JAMIC
- ASPRO
- CAMTA支所

40km

10km

25.8km



# オーストリア

## 1. 地区概況

所在地：パラ州、トリアー郡 (Município de Tomé-Açu, Estado do Pará)

管理者：トリアー農業協同組合 (Cooperativa Agrícola Mista de Tomé-Açu)

入植開始年度：1929年

経緯：1929年南米植民地移住者の移住地として開設、当初352家族の入植を以て農業上の天恵であったが、若年層に引継ぎ者多く、即ち家族が定着。戦後、トリアー地域の戦後、総体的な発展ととも、現存約15トンと生産し、北米、ヨーロッパ諸国等の南米諸国に輸出している。戦前移住者の大部分は全米から土地を譲り受け、入植したが、戦後は戦前移住者の遺児や雇用者として入植。契約地を所有する権利が、この事業団の職員等により設立されたトリアーの自治体。入植者の管理はトリアーの自治体の管轄とされている。

より一時停滞したが、新移民の増進と共に、タバコ、バナナ、カカオ等の栽培によりカバーしている。

自然条件：位置 W 48°50' 高さ 11~30m (平均 20m) 概ね平地、地区内を流る河川は、アマゾン川、トリアー川が横断している。肥後土壌 - 砂質土壌の肥後土壌の土壌で表土は比較的有機質に富み、暗褐色、砂質土壌上。植生 - 砂質土壌 - 熱帯性森林に覆われ、タバコ、バナナ、カカオ、その他の農産物を栽培している。気候 - 熱帯性高温多湿気候 (年平均気温 27°C) ベレン市周辺よりは気温の変化は顕著である。年間12~5月、乾期は6月~11月、年平均的降水量は2500mm。

社会条件：交通 - トリアー町からベレン市までは、陸路で約180km、水路は約250km、国道48km、鉄道の350km、パラゴアス鉄道の500kmが完成しており、バス使用が便利で、バスは往復が運行されている。また、近々、ベレン - マラカ州が完成する予定で、これによりベレン市まで180kmとなる。トリアー町には電線電話局あり、ベレン、サンパウロ、日本にも直接通話ができる。

市場 = 消費市場 ベリン市、人口70万人、ママソン流域最大の都市で行政、文化、商業の中心地である。アマゾンの農産物の輸出港で主な取引物はヒマング、ジャコ、コム、カヌー、ド、バナ、茶葉などがあげられており、豆油で、ヒマングはベリン港を経て、北米、ヨーロッパ、アルゼンチン等に世界各国に輸出されている。

医療・教育 = 1974年、十字路に州立病院が完成し、医療業務に当りうるほか、二世による産科医と産科士がいる。域内には小学校が4校、中学校が1校ある。

治安 = トマダ一町に警察署があり、トマダ一郡を管轄している。

金融 = トマダ一町に「カヌー」銀行、十字路に「マツラ」銀行、マソニエ銀行、カヌー銀行の3つの支店が開設されている。

## 2. 入植地状況

総面積 50,000ha. コット面積 25ha.

電気・水道(飲料水) 1974年、十字路とアルシ市街地に発電所が完成、十字路とトマダ一町が電化されている。水道はトマダ一町、十字路のみで、他は、10~20mの自家用井戸で飲料水と飲んでいる。

地域内道路 = 幹線は十字路、トマダ一十字路間はアルシ市街地、他は別州道、黄線は盛土である。

## 3. 入植地の農業

主作物 = ヒマング、ド、バナ、カヌー、マウクマ、ハツイマモン

農業状況 = 従来当地域の農業はヒマングの単一栽培により行われてきたが、病害の発生が原因で、当地の農業は経営が停滞し、米、大豆の永年性作物としてカヌー、バナ、ココ、米、豆、糖、糖、多量性作物としてマウクマ、ハツイマモン等が導入された。州道の整備に伴い、南側向けの農産物の出荷が開始されている。

一方、ヒマング農園の土地利用に付ても種々の試みがなされ、米、豆、バナ、他作物栽培後のヒマング栽培が工夫されている。

農業指導機関 = トマダ産業組合(農務部) EMR、TER-PA、EMR-PA(マソニエ農務指導機関)

利用金融機関 = 銀行、寺農団(JEMIS)

主作物の販売取扱機関は主に市場

トマス-産業組合を通じ、ロンドン、カカオは大米、ヨーロッパ、アルゼンチン等へ、マカア、ハワイマン、メロン等は南米市場へ出荷されている。

農家所得 1977年度 5,257千円

#### 4. 組織活動

○自治組織「トマス-文化協会」を組織し、この下に各地区会があり、教育文化、衛生、娯楽、土木、治安等の事業を行っている他に、トマス-青年会、二世会、4Hクラブ、婦人会等があり、それぞれ地区全体で活動を行っている。

○農協組織「トマス-産業組合」はトマス-十字路に本部をおき、集荷部、購置部、肥料農薬部、農機部の諸施設を設置し、他に農事部、運輸部等がある。他にベリン支店、サンパウロ支店、ニコヨーク支店と、アルゼンチンとヨーロッパに代理店を設置している。またベリン近郊にも集荷場を設置している。

現在組合加入者(77.12)は 342名である。

### オエトマス-

#### 1. 地区概況

所在地：パラ州 トマス-郡 (Município de Tomazé, Estado do Pará)

管理者：専業団 (JAMIC)

入植開始年度：1962年

経緯：1959年、トマス-産業組合 トマス-地区長業団会(トマス-文化協会前身)は入植30周年の記念行事として後述移住者と受入れ、アマゾンにおける一大ビニル生産地とするのを目的として新たに移住地創設を計画した。この事業は、旧海外移住振興KKが引継ぎ、1960年州府地の松下げを申請直営移住地としての建設が始まった。

自然条件：位置 = W/48°20' N/2°30'

地形、地質、土壌、植生、気候はオエトマスと同様

社会条件：交通 = ベリン市へのバス便は十字路乗車



ととも自治体内は、日又往復が運行されている。  
市場、通信は市トマアと同一。  
医療、教育は専業団直営の診療所あり。医師1名、看護婦3名が常駐し、救急車も配備されている。保健衛生の普及にも力を入れ、学生児童の定期検診や各種予防接種も必要に応じて実施されている。

地区内には専業団が建設した小学校2校(4年制)あり、教師8名が配属されている。生徒はバス、自転車、徒歩等で通学。中学校はトマア一所に1校あり、スクールバス(貸与)通学。他はベレン市に寄福通学している。就学状況は良好で高校進学への進学者が増加している。

治安は地区内3ヶ所に警察官が3名常駐しており、専業団より治安用オートバイ各1機台が貸与されている。治安状況は良好である。

2. 入植地状況

総面積 25,800 ha, ロッテ面積 25 ha

分譲条件及び価格 250,000円(一括払)

分割払 頭金10%, 4年経過 5年払

分譲可能面積 約 22,000 ha

(78年11月末現在)

分譲状況 分譲済面積 12,649 ha, 未分譲面積 9,359 ha, 道路市街地等建設地 1,240 ha, 保留地 2,479 ha

池田交付 243件

電気、飲料水は電気の自家発電、飲料水は10~25mの深さで水を得ることができ、自家掘り井戸で賄われている。水質良く、水量豊富。電化は市街地形成に伴い可能、またツルミダム完成に伴い電力用電力が得られる可能性充分にある。(ベレンマラに南州道より約80km)

地区内外道路: 1972年に市トマア〜マラゴマナ、又南州道完成、1975年トマア〜アエレル〜至南ベレン、トマア〜リオカッセン西至南 48km地塊完成により、ベレン及び南伯向けの道路状況は一変し、域内交線道路も専業団の手により砂利舗装されている。

主専業団協議施設・車輦等。 小学校2、教員宿  
舎5、診療所1、医師宿舎1、看護婦宿舎1、公民  
館1、移住者仮宿泊所3、警察屯所3、救急車  
1、治安用オートバイ3、フルドーザ D8、1、ダンプ  
カー2、ホムロ-ター1、カレ-ター1、農機振興  
(ASPRO) フルドーザ D6 L、D7、1、ホムロ-ター1、  
トラクター 動力噴霧機、牽引車

組合、自治体等、組合支所1、集荷場1、カソウ  
スタブ1、公民館1、青年会館1、総合クラブ1、  
スクールバス1

### 3. 営農

主作物、ヒメシタ、カブチ、カラナ、マラクシタ、ハイマセン。

入植地の営農 営農形態はオトノアス-と同じであ  
るが、新耕地におけるヒメシタ栽培が未だ可能であ  
り、オトノアス-としてのカブチ、カラナ等が導入され、こ  
れに畜産、植林等が加味された複合経営に移行  
しつつある。また、ヒメシタ産園とヒメシタによる再利  
用のため、オトノアス-同様に種々の試みが行われて  
いる。

125  
営農指導機関、 INATAM、 EMATER-PA  
CAMTA農事部。

利用金融機関 銀行、専業団 (JEMIS)

主作物の取扱取扱機関 市営に主市場：オトノア  
ス-と同じ

農家所得 1977年 2500万円

### 4. 組織活動

自治体「オトノアス-自治会」と組織し、教育、文化  
厚生、治安、防犯、産業等の専業を行っている。

他にオトノアス-青年会、婦人会があり、それぞれ  
地区全域での活動を行っている。

農協：オトノアス-入植者の殆んどがオトノアス-産業  
組合に加入している。

### 5. 入植者数

居住者 137戸、通作 69戸 計206戸

## 第3トマス (COLONIA ACÚ-ACÚ)

### 1. 地区概況

所在地: パラ州、モジュ郡およびアカラ郡

管理者: パラ州政府

入植開始年度: 1977年

経緯: 戦前トマス植民地、戦後に第2トマス植民地が建設され、ピメンタグループは相模してトマスを中心とした日系植民地が発表されてきた。1966年の終り頃からピメンタの世界市場も低調になり、更にピメンタの病害も発生して、トマス植民地のピメンタは殆く全滅に近くなり、第2トマスも汚染され、幹線沿いは半数以上のピメンタが枯死する結果となった。

ピメンタの病害対策については、当時試験農場などの試験研究により、基本的な対策の方向、すなわち栽培管理を完全に実施した集約的有機農法によれば、病害の発生、進行はある程度防止できるが、入植者が望む如き。

化学肥料を駆使し、大規模に栽培する時法に対する決定的な防除対策は、未だ発見されていない。

したがって、ピメンタを栽培する入植者は、自衛手段として無病害地域へ栽培地を移動させ、病害が発生すれば、それを放棄して新たに無病害地域へと移動する方法をとっている者が大部分であった。

しかし、このような「ツブツブ」農法は、家族への別居、子供の教育問題等から持続性がなく、誰しもが環境の整った居住地周辺において、営農と行ない、安定した生活を営むことを希求していることは当然のことである。

また、ピメンタにかかわる第2、第3の作物の腐敗導入に積極的な姿勢を示しているが、昔日のピメンタによる楽な生活が忘れ難く、ピメンタ栽培の夢を花にしている。

したがって、入植者は、トマスから通作できる圃場の無病害地域においてピメンタの栽培ができればと考えるのは当然のことである。

1973年6月26日、トマスにおいて南隣にあるパラ州移動政府が、トマスへモカジュバ南、レンヘメラバ南の道路建設を発表した。

これに伴い、トマス郡、トマス-産業組合およびトマス-文化協会が中心となり、第3トマス-植民地造成委員会を先達地、農耕地造成計画等を作成、入植希望者を募り、州当局に土地分譲申請を行つた。

パラ州政府はこの要望にこたえて、1974年12月3日政令第8911号を以て第3トマス-植民地(州側名称 COLONIA ALÍ-AGÜÍ)の位置および面積を確定した。

自然条件：位置 = W 48° 50' 52" 45'、地形的には極めて平坦な平原である。標高は低く平坦な地形である。土質 = トマス-と第2トマス-と同一く、黄色リソルが主体で、砂質である。植生、気候等はトマス-地域と同じ。

社会条件：第3トマス-は、未だ諸々の不便はあり、パレンヘマラバ南の州道が完全に通じていない。おのおの生活用品が現地で調達できず、現生生活である状態である。

しかし、近い将来、パレンヘマラバ南の州道が完成すれば、パレン市場の利用が便利となる。

## 2. 入植地状況

総面積：約 110,000 ha、口面積 100 ha

分譲条件等の概況：地籍確定後、地籍申請、価格査定 (但し、道路造成費自己負担)

目前上対分譲可能面積：約 60,000 ha (現在 243 戸申請済、うち仮地権発給 84 件)

電気：なし。飲料水：自家用井戸

地区内道路：第3トマス-からは、PA 256 号線 (トマス-経由パレン方面へ、PA 82 号線 (パレンヘマラバ南) があり、2~3 年で南進すれば本道路と利用して、直線的にパレン市へ向うことができ、トマス-至南は約 100 km 短縮される。

主要事業用の設備：道路造成用として、ブルドーザー D-6 1、グレーダー 1、車両 1、貨車 1。78 年度中にブルドーザー D-8 1、ダンプカー 1 が追加費で手配予定。

組合自治会：トマス-産業組合、トマス-文化協会  
管理：トマス-、第2トマス- (FEL)

農産物統計

コショウの年度別・等級別集荷状況表 (CAMTA扱)

	1975年度集荷量	比率	1976年度集荷量	比率	1977年度集荷量	比率
黒コショウ 1級	2,761,322 kg	76.52%	2,686,265 kg	80.74%	3,004,800 kg	82.85%
黒コショウ 2級	88,395 "	2.45%	57,039 "	1.72%	38,614 "	1.07%
黒コショウ CHDCHA	49,516 "	1.37%	41,327 "	1.24%	55,675 "	1.54%
白コショウ 1級	654,882 "	18.15%	474,374 "	14.29%	411,295 "	11.34%
白コショウ 2級	28,090 "	0.77%	21,148 "	0.64%	55,245 "	1.52%
白コショウ CHDCHA	5,613 "	0.15%	4,963 "	0.15%	5,805 "	0.16%
CASCA (pó)	20,725 "	0.57%	33,806 "	1.02%	55,143 "	1.52%
計	3,608,443 kg	100%	3,318,923 kg	100%	3,526,577 kg	100%

作目別・年度別販売状況表 (CAMTA扱)

	1974年度販売高	比率	1975年度販売高	比率	1976年度販売高	比率	1977年度販売高	比率
コショウ	37,319,967.13	98.17%	46,012,819.13	96.17%	71,122,913.21	82.58%	93,880,139.41	72.77%
マラクシア	11,904.85	0.03%	1,062,710.89	2.22%	3,624,571.10	4.58%	13,116,254.85	11.03%
カカオ	177,880.82	0.47%	454,130.82	0.95%	1,004,574.82	1.26%	7,318,166.84	6.16%
クロン	123,455.80	0.33%	513,068.85	1.06%	3,518,228.51	4.43%	3,928,386.31	3.30%
ハワイ マモン	-	-	-	-	138,445.10	0.17%	628,340.15	0.53%
計	37,633,206.78	100%	47,942,929.80	100%	89,408,732.73	100%	118,871,287.51	100%